

2023年3月10日
下地島空港活性化協議会**下地島空港活性化協議会「評価検証委員会」を開催しました**

～初めての対面での開催、下地島空港や宮古圏域の活性化に向けた取り組みの評価・検証を行いました～

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)^(※1)は、3月10日(金)に「第3回 評価検証委員会」^(※2)を開催しましたので、お知らせします。

(※1) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

(※2) 下地島空港活性化協議会や地域・航空会社の取り組み、羽田発着枠政策コンテストにて設定した目標の達成度等について、第三者より評価・検証いただくと共に、そのフィードバックを来年度の取り組みに活かす目的で、年に1度開催しております。

【「第3回 評価検証委員会」における主な実施事項】**① スカイマーク下地島＝羽田路線の現況**

- ・ 引き続きコロナ禍にあるものの、2022年度4～1月、各月において月間利用者数を更新。
- ・ 2022年度は大半の月で羽田発着枠政策コンテスト提案時に目標としていた搭乗率・旅客数を達成。
- ・ 冬期閑散期に入っているものの、各種施策の効果により旅客が減ることなく、夏期からの好調を維持。

② 羽田発着枠政策コンテスト関連

- ・ コンテスト提案内容の取組事項の内、下地島空港活性化協議会のセルフモニタリングにおいて課題認識の強い取組(主に東京都心部における訪日外国人へのPR展開や市街地⇄リゾートホテル間の無料シャトルの運行等)を中心に評価・検証を実施。

1. 「第3回 評価検証委員会」(3月10日(金)開催)

以下の第三者の委員にて構成されている第3回「評価検証委員会」(前回は2022年2月16日に開催/年1回を予定)が行われました。

(委員名簿)[※]詳細については別紙:「評価検証委員プロフィール」参照

氏名	職業・役職
下地 芳郎(委員長)	(一財)沖縄観光コンベンションビューロー [以下、「OCVB」]会長
上地 恵龍	沖縄キリスト教学院大学 副学長
幕 亮二	北九州市立大学大学院 特任教授

「第3回 評価検証委員会」において、下地島空港活性化協議会長を務める宮古島市の座喜味市長より、また評価検証委員長を務める OCVB 下地芳郎会長より以下の通り挨拶がありました。

■座喜味市長

「今年度も下地島空港活性化協議会(3カ月毎、計4回実施)を通じて宮古圏域や下地島空港の活性化に関して議論・推進してきた。

羽田発着枠政策コンテストの評価期間も今月で終了し、いよいよ結果が出るというタイミングになってきている。コンテスト枠の活用によるスカイマーク羽田＝下地島線や、それを契機に展開された乗継含めた日本全国とのネットワークは、もはや宮古島の経済や観光振興に必要な不可欠なものとなっているところ、羽田空港の発着枠獲得を確実にすべく、最後まで宮古島の熱意を伝えたい。

今後の宮古島の為にも、本日は委員の皆様から提案・指導、そして提言賜りたい。」

■下地会長

「コロナ禍で観光にとって厳しい状況が続いてきたが、ようやく復活の兆しが見えて来ているところ、全国の観光関係者からも、宮古島を含む沖縄が観光復活の牽引を期待されている。新しい路線の幅を広げる羽田＝下地島線の獲得を実現していただきたい。

持続可能な観光を目指すという課題とエコアイランドを掲げる宮古島市の方針は親和性が高いので、利用者、事業者双方に価値のある路線であるとあるという意味付けをしていくことが大切だと考える。

本日の委員会でも様々な視点で議論を進めて頂くとともに、関係各所のこれまでの取り組みに心からの敬意を表したい。」

その後、下地島空港活性化協議会が作成したモニタリングレポートをもとに各種取組みに関する評価が行われたほか、今後取り組むべき事項等について意見が交わされました。



■ 第3回「評価検証委員会」概要

日時: 2023年3月10日(金)9:30~11:00

場所: 宮古島市役所会議室

出席者: ●「評価検証委員会」委員

下地 芳郎 (一財)沖縄観光コンベンションビューロー 会長(評価検証委員会委員長)

上地 恵龍 沖縄キリスト教学院大学 副学長

幕 亮二 北九州市立大学大学院 特任教授

●「下地島空港活性化協議会」会員

座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)

久高 将匡 沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課誘致企画班 班長(協議会事務局)

根路銘 康文 宮古島商工会議所 副会頭

平山 茂治 (一社)宮古島観光協会 専務理事

平野 敦士 下地島エアポートマネジメント株式会社 常務取締役

<本件に関する問合せ先>

沖縄県 文化観光スポーツ部 観光振興課 TEL:098-866-2764
下地島エアポートマネジメント株式会社 総務企画部 TEL:0980-78-6365

別紙:

下地島空港活性化協議会 評価検証委員 プロフィール

委員長



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長

下地 芳郎(しもじ よしろう) 氏

1981年明治大学卒業、2009年立教大学大学院修了。1981年に沖縄県職員として採用、沖縄県文化観光スポーツ部観光政策統括監などを経て2013年に沖縄県を退職。琉球大学観光産業科学部長と同大学院観光科学研究科長などを経て2019年6月より現職。



沖縄キリスト教学院大学 副学長

上地 恵龍(うえち けいりゅう) 氏

1974年3月琉球大学法文学部商学科商学士、2004年より首里観光株式会社(出向)代表取締役社長、2006年6月より株式会社 JAL ホテルズ専務取締役。2008年10月琉球大学観光産業科学部観光科学科教授に就任、2017年4月沖縄キリスト教学院大学特任教授を経て2019年4月から現職。



北九州市立大学大学院 特任教授

幕 亮二(まく りょうじ) 氏

1991年早稲田大学大学院経済学研究科修了、1991年に株式会社三菱総合研究所に入社し25年勤務、集客・交流コンサルティングチームリーダー、空港民営化事業チームリーダーを経て退職。2017年5月、株式会社 MK 総合研究所を起業し代表取締役所長を経て、2019年4月から現職。